

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 4 日

事務事業名		伝統的建造物群保存地区審議会運営事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	030502000907
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独	所属課	060201
政策体系	総合計画の施策名	0305	文化財の保存・活用		主要事業	対象	都市整備課	
	政策名	03	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり		市長マニフェスト	対象外		
	施策名	05	文化財の保存・活用		未来PJ事業	対象	都市政策グループ	
	基本事業名	02	文化財の活用		合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	80	01	00	伝統的建造物群保存地区推進事業	
法令根拠		桜川市伝統的建造物群保存地区保存審議会規則			単年度繰返し (平成19年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
保存地区内の現状変更案件の調査・審議、保存計画の見直しなど ・住民代表、まちづくり団体、市議会、有識者より委嘱 (任期2年) ・必要に応じて、年2回開催 ・修理修景基準の詳細検討	審議会開催に係る事務局業務 (案件整理、日程調整、資料作成、審議会開催、議事録作成)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
審議会開催に係る事務局業務 (案件整理、日程調整、資料作成、審議会開催、議事録作成)	協議件数	件	6.00	9.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
・桜川市真壁伝統的建造物群保存地区内の建造物等 ・保存地区内の住民	特定物件の数	件	170.00	170.00	173.00	174.00	175.00
	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区の面積	ha	17.60	17.60	17.60	17.60	17.60
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
・伝統的町並みの保存および町並み景観を向上させる ・住民が主体になり町並みを保存する	修理・修景・許可	件	43.00	29.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	78	45	115	115	115
	事業費計 (A)	千円	78	45	115	115	115	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	87.00	80.00	50.00	50.00	50.00	
	人件費計 (B)	千円	252	232	145	145	145	
トータルコスト (A)+(B)		千円	330	277	260	260	260	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	42		01 報酬	108	
	11 需用費	3		11 需用費	7	
	合計	45		合計	115	

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	審議会の開催	審議会の開催	審議会の開催
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	伝統的建造物群保存地区審議会運営事業	事務事業No.	30502000907	所属課	都市整備課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成19年度に、桜川市伝統的建造物群保存地区保存条例の可決を受け、保存審議会規則を策定して、保存計画案の策定に着手した。 保存計画案を策定し、伝統的建造物群保存地区の都市計画決定を行った。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 住民による保存会の結成を促進し、住民自治でなすべき機能は移すよう要望されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	古い町並み、伝統的建造物を活用した「住み良いまち・住み続けたいまち」の創出に寄与している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	伝統的建造物群保存地区の決定および運営は、住民と市町村とが行うこととなっている。 規制と補助を行う制度であるので、市町村が役割を果たさなければならない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	保存計画の決定、伝統的建造物群保存地区の都市計画決定は実施済み。 保存会・審査制度を確立して、よりスムーズな制度運営を行う必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	保存地区の運営については、住民と行政が一体となって進めるとともに、専門的事項について学識経験者の意見を徴することが必要であり、重要事項については、審議会において決定する必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	都市計画区域内における新たな都市計画決定であり、制度の運用については文化財保護法に位置づけられているため、都市計画部局と文化財部局との連携が不可欠である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	委員報酬については、既に削減されている。これから益々重要な事業であり、削減の余地はない。 人件費については、必要最小限でやっているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	審議会で決定された内容をもとに地区の運営が行われるものであり、地区内に公正に適用される。 桜川市の誇り、また歴史・観光資源として広く市民に寄与し、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成22年度は国の重伝建地区選定を受けた。 平成23年3月の震災に基大な被害を受け、災害復旧事業を開始して現在も継続している。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○		低下			
成果	向上													
	維持			○										
	低下													
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果	②													
コスト削減優先度評価結果	⑨													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>